

中越地震から一年

堀之内中学校 二年 横山 奏

僕の住んでいる堀之内は魚野川が流れ、その川がとなりの川口町で信濃川と合流している。その川口町と山古志村は堀之内をはさんで背中合わせです。山の奥では小千谷市と石川町が、そしていままは遠くには魚沼三山が見え、自然のあふれる豊かな町でした。

二〇〇四年十月二十三日土曜日、僕は野球部の一日練習を終えていました。いつものよ

うに友達と会い、きつい練習をこなし、いつものように家に帰った。その日は別に何の変化もありませんでした。ちよつと変な形の雲が浮かんでいるなあ、そう思った。ただけでした。

午後五時半すぎに、病院に見舞いに行くと、いつもの祖母と遊びに行っている妹を迎えに行くために車に乗り、走り出してから約十分後のことです。妹を車に乗せ、静かな農道を走っていた。その時でした。

午後五時五十六分、巨大な爆音とともに車

が大きく弾みました。はじめは何か起こったのかまゝ、たぐ分かりませんでした。な人と地震だ。たのです。周りの家という家を壊し、道路は大きくひび割れ、電柱も皆かたむいていました。僕の家も全壊、友達の家や近所の家もみな同じような状態でした。もちろん電気、水道、ガスの人ながめになりました。今まであった当たり前のものが何もかもなくなりました。学校にも行けず、不便な生活が続きました。河口町では震度七を観

測し、山古志村では土砂災害で全村避難となりました。震源地の小千谷市では多大な被害を受け、死者も今までで五十人に昇りました。多くはこの地震で、人と助け合うことを学びました。この避難生活で、人々が助け合わなければ、ここまで復興できなかったと思います。それから一年間、被災地は復興に励んでいます。全国の人々からたくさん義援金をお寄せいただき、道路の工事や家屋の建設が急ピッチ



で進んでいます。たくさん人の心を復興のためにかかっています。豪雪にも豪雨にも負けが、必死でかかっています。まだまだ時間はたくさん必要だと思いますが、これから復興のために、この神戸のように、またもとの自然の豊かな美しい振え内にもいるために、みなで力を合わせてかかっています。友いと思います。